

# 取扱説明書

ねじ込み形ストップ弁  
LPI

ねじ込み形アングル弁  
LPL



株式会社 宮入バルブ製作所  
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

# 目次

	ページ
1. 概要	..... 2
2. 製品名	..... 2
3. 使用範囲	..... 2
4. 構造と特長	..... 2
5. 運搬および保管	..... 2
6. 取付要領	..... 3
7. 使用上の注意	..... 3
8. 点検および保守	..... 3
9. アフターサービス	..... 3
10. 構造図	..... 4

## はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用下さいますようお願い致します。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します

### 1. 概要

本製品は、主にLPガス配管弁、止弁、また圧力計などの元弁として広範囲に使用できます。ストレート形とアングル形の2種類がございます。

### 2. 製品名

品名	ねじ込み形ストップ弁	ねじ込み形アングル弁
型式	LPI	LPL
図面番号	B-18187	B-18193

### 3. 使用範囲

取付前に必ず次の仕様を確認の上ご使用ください。

- |            |       |                     |
|------------|-------|---------------------|
| (1) 使用流体   | ..... | LPG、一般高圧ガス          |
| (2) 設計圧力   | ..... | 2.4MPa              |
| (3) 設計温度   | ..... | -10～70°C            |
| (4) 耐圧試験圧力 | ..... | 3.9MPa              |
| (5) 気密試験圧力 | ..... | 2.4MPa              |
| (6) 接続仕様   | ..... | JIS B 0203 管用テーパーねじ |
| (7) 本体材質   | ..... | C3771B              |

注 1) これは標準仕様です。仕様機器が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様および製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用ください。

注 2) 毒性を有する流体に関しては、使用できません。

### 4. 構造と特長

- (1) 本体には耐食性に優れた黄銅材を使用しております。
- (2) バルブの開閉方向は、ハンドルにも表示しておりますが、開は反時計り、閉は時計回りです。
- (3) グランド部はOリングを二重にし、外部への漏れを防止しております。

### 5. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、投げる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないで下さい。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のまま、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにして下さい。

## 6. 取付要領

- (1) 配管のバルブ取付ねじ、ならびにバルブのねじ部を清浄にしてください。特にねじ部にキズ、打痕などがある場合、ねじのかじりやガス漏れの原因になります。
- (2) 管接続のシール剤は使用流体に適したものを使用してください。
- (3) ねじの締め付けトルクは、シール剤の種類などにより様ではありませんが、適正なトルクで漏れの無いように締め付けてください。過剰な締め付けは、ねじ部の破損、および経年後の割れの発生など、耐用年数を短くする原因になりますので、適切な長さのスパナと力で締め付けてください。この時、バルブへのスパナ掛けは、パイプなど接続側に近い角部を使用してください。なお、パイプレンチは絶対に使用しないでください。締め付ける力の目安は、バルブを配管に手で締め付けた後、1～1.5回転のスパナ締めを標準とします。
- (4) 配管のズレなどにより、バルブに異常な応力が加わらないようにしてください。

## 7. 使用上の注意

- (1) ハンドルを開ける場合は、全開より半開転ほど戻してご使用ください。
- (2) 過大なトルクでの、ハンドルの開閉は避けてください。破損または機能の低下となります。
- (3) 外部から衝撃を与えないでください。変形により接続ができなくなります。

## 8. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行って下さい。

- (1) 配管接続部を点検し、漏れが有る場合は配管をやり直してください。このとき、バルブのねじ部に傷、変形などがある場合は新品と交換してください。
- (2) バルブ自体の外部漏れを点検し、漏れがある場合は新品と交換してください。
- (3) ハンドルの開閉がスムーズに行えるか点検し、異常がある場合は新品と交換してください。

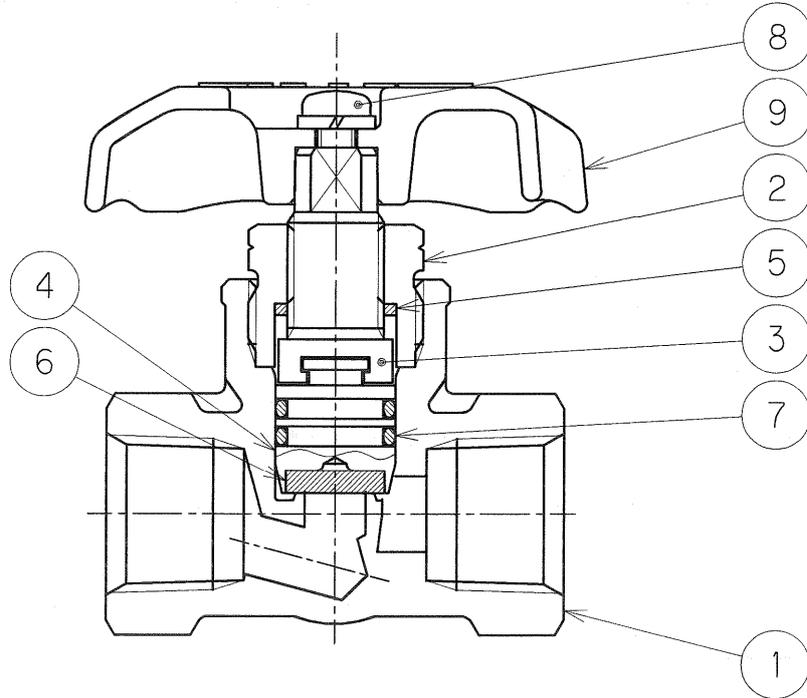
その他、高圧ガス保安法の適用をうけるバルブは、規定に基づき検査を実施してください。

## 9. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

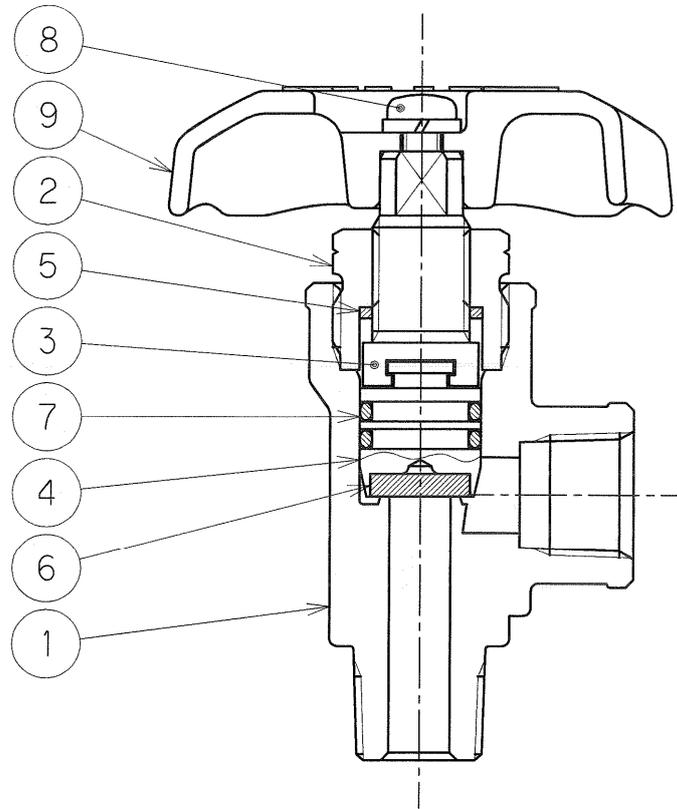
上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。  
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせ下さい。

10. 構造図  
 (1) LPI



9	ハンドル	ADC12	1	
8	セットスクリュー	SWRCH10R	1	
7	O-リング	NBR	2	
6	シートパッキン	ナイロン	1	
5	バックパッキン	ナイロン	1	
4	バルブステム	C3604B	1	
3	スピンドル	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボディ	C3771B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

(2) LPL



9	ハンドル	ADC12	1	
8	セットスクリュー	SWRCH10R	1	
7	O-リング	NBR	2	
6	シートパッキン	ナイロン	1	
5	バックパッキン	ナイロン	1	
4	バルブステム	C3604B	1	
3	スピンドル	C3604B	1	
2	グランドナット	C3604B	1	
1	ボディ	C3771B	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984